

令和 8 年度 第 1 回 大牟田市地域公共交通活性化協議会

(6) 議案第 6 号

令和 8 年度地域公共交通利用促進事業について

<目次>

1. 地域公共交通利用促進事業について	1
2. 申請概要	3
3. 事業者からの申請書（事業計画書及び収支予算書）	5

令和 8 年 6 月 2 9 日
大牟田市 国県道路・地域交通対策課

地域公共交通利用促進事業について

～地域公共交通利用促進事業補助金～

1. 補助の趣旨

本市の公共交通は、人口減少や自家用車依存を起因とした利用者の減少により、路線の廃止や減便、運賃の値上げなど、公共交通サービス水準が低下し、利用者がさらに減少する悪循環となっている。

こうした状況は運転免許を持たない学生や高齢者の移動に大きく影響し、通学・通勤や買い物、通院など、日常生活が制約され、ひいては地域社会の衰退を引き起こすことが懸念される。

公共交通を将来にわたり維持してくためには、公共交通の更なる利用が不可欠であり、交通事業者や地域団体等による利用促進や利便性向上に対する取組みへの積極的な支援が求められている。

こうした背景を受け、大牟田市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）の交通事業者等が実施する公共交通の利用促進及び利便性の向上に資する取組みに対し、協議会を通して、補助金を予算の範囲内で交付する。

2. 補助の内容・対象団体

（1）補助対象経費

公共交通利用促進のイベント実施、ポスター・チラシ作成、
PR動画撮影・配信など、協議会が必要と認める費用

ただし、消費税及び地方消費税に相当する額は、補助対象経費から除く

（2）対象団体

協議会を構成する交通事業者等

（3）補助対象期間

交付決定通知後から令和9年3月31日までに実施される事業

（4）補助額（上限）

1事業につき上限10万円、補助率10/10以内

（5）採択予定数（見込み）

3団体

3. 募集期間

令和8年4月1日（水）～5月29日（金） ※申請書必着

※令和8年度の事業計画及び予算が承認されたのち、速やかに事業着手できるように、あらかじめ事業の実施について検討をいただいております。

4. 補助金の申請方法

補助金の交付を受けようとする団体は、補助金交付申請書（様式第1号）、その他協議会が必要と認める書類（事業計画書、収支予算書等）を期限までに協議会事務局へ提出すること。

地域公共交通利用促進事業について

～地域公共交通利用促進事業補助金～

5. 補助金の交付決定等

補助金の交付申請があった場合、協議会において申請内容を審査のうえ、補助金の交付を決定する。補助金の交付が決定した場合には、補助金交付決定通知書（様式第2号）により通知する。

6. 実績報告

補助金の交付を受けようとする団体は、事業完了後速やかに、補助金実績報告書（様式第5号）、その他協議会が必要と認める書類（収支決算書等）を協議会事務局へ提出すること。

（提出期限：補助事業完了から30日以内又は令和9年3月31日のいずれか早い日）

7. 補助金の額の確定

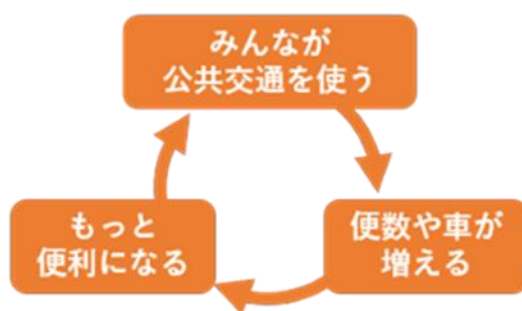
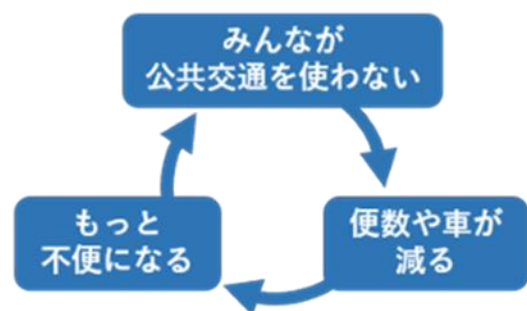
補助事業の実績報告があった場合、これを正当と認めるときには、交付すべき補助金の額の確定を行い、補助金確定通知書（様式第6号）をもって、補助金の交付を受けようとする団体に通知する。

8. その他

取り組みを通じて得られたノウハウを広く役立てるため、市ホームページなどで活動内容等を紹介するとともに、報道機関等に情報を提供することがある。また、協議会において、取組概要等の報告を求めることもある。

誰も使わないとどんどん衰退...

みんなで使えば良い循環に！



子どもの送迎が大変...
運転が不安だけどマイカーを手放せない...
家族に免許返納をすすめるのにくい...



毎日の送迎の負担が軽くなる！
免許返納しても自由に移動できる！
自分が高齢になった時も安心できる！



<問い合わせ・申請先>

◆大牟田市公共交通活性化協議会事務局（土、日、祝祭日を除く8:30～17:15）

〒836-8666 大牟田市有明町2-3 大牟田市都市整備部国県道路・地域交通対策課内

TEL：0944-41-2783 FAX：0944-41-2795

E-mail：e-kokkendou-koutsu01@city.omuta.fukuoka.jp（担当：湊）

1. 申請事業所

3事業所：九州旅客鉄道(株)、西鉄バス大牟田(株)、西日本鉄道(株)

2. 申請内容

①九州旅客鉄道(株) ※詳細はP5～P6

事業名：新幹線のお仕事チャレンジ～新大牟田駅と保守基地に潜入せよ～

目的：JR九州の駅員や保守員のお仕事体験ができるイベントの開催を通して、新幹線を身近に感じてもらい、JR九州のファンづくりや地域の賑わいを図ることを目的とする。

時期：令和8年11月15日（予知）

内容：駅員体験(きっぷ発券、改札案内、放送案内など)
保守体験(電気作業乗車、軌道バイク乗車、床下点検体験など)

事業費：315,000円（うち補助申請額 100,000円）

②西鉄バス大牟田(株) ※詳細はP7～P8

事業名：こども向けバス乗車証明書配布による利用機会の創出

目的：小学生以下のお子様を対象に、バスのイラストを募集しバス車内に掲示。掲示期間中をこどもバスWEEK（仮称）に設定し、路線ごとに乗車証明書を配布することにより、普段バスに乗らないファミリー層のバス利用機会の創出を図るもの。

時期：令和8年9月19日（土）～23日（水祝）の5日間

内容：小学生以下のお子様へ、バス乗車証明書を配布

事業費：104,935円（うち補助申請額 100,000円）

③西日本鉄道(株) ※詳細はP9～P10

事業名：西鉄電車に乗ってお得に巡ろう！ラーメンvsうどんデジタルスタンプラリー

目的：西鉄沿線に数多く存在するラーメン・うどんの名店をお得に巡っていただき、まちのにぎわい創出および沿線の魅力発信を行うもの。なお、大牟田駅を最寄りとする2店舗も本企画の対象店舗となっており、大牟田の魅力を変えてPRするもの。

時期：2026年6月1日～7月31日

内容：福岡を代表する麺文化のラーメンとうどんのどちらが支持されているかを定める参加無料のデジタルスタンプラリー。

※開催期間中に参加者が獲得した協賛店のスタンプ総数をラーメン店・うどん店ごとに集計し、より多くの支持を集めた麺を「福岡の麺」として決定。

大牟田駅最寄りの2店舗を含む、西鉄電車沿線の名店&新進気鋭の20店舗が対象。当スタンプラリーは、参加店の最寄り駅または参加店でスタンプを獲得することで、全店で使えるお得な「共通クーポン」を獲得。さらに、ラーメン店・うどん店（各店舗の最寄り駅含む）のどちらかのデジタルスタンプをコンプリートすると「西鉄電車 オリジナル箸」をプレゼント。

事業費：3,464,000円（うち補助申請額 100,000円）

参考様式第1号（第7条関係）

事業計画書

事業名称	(仮)新幹線のお仕事チャレンジ 新大牟田駅と保守基地に潜入せよ
目的	JR九州の駅員や保守員のお仕事体験ができるイベントの開催を通して、新幹線を身近に感じてもらい、JR九州のファンづくりや地域の賑わいを図ることを目的とする。
日時	(仮)令和8年11月15日
場所	新大牟田駅、新大牟田保守基地(イベント時のみ開放)
事業内容	(仮) 駅員体験(きっぷ発券、改札案内、放送案内など) 保守体験(電気作業乗車体験、軌道バイク乗車体験、床下点検体験など)
総事業費	315,000円(案)
補助申請額	100,000円
対象者及び予定人数	(仮)小学生及び保護者 合計60名
期待される効果	駅員体験や保守体験の体験型イベントを通して、鉄道への関心を高め、将来の利用促進等に繋げたい。
その他	

参考様式第2号（第7条関係）

収 支 予 算 書

1. 収入の部

区分	予算額	摘要
体験料	60,000 円	小学生 30名×2,000 円
体験料	30,000 円	保護者 30名×1000 円
地域公共交通利用促進 事業補助金	100,000 円	
自社負担金	125,000 円	
	円	
合計	315,000 円	

2. 支出の部

区分	予算額	摘要
スタッフ人件費	200,000 円	10名×20,000 円
イベント保険	5,000 円	
広告宣伝費	30,000 円	チラシ、ノベルティなど
会場移動費	80,000 円	バス使用
	円	
	円	
合計	315,000 円	

※費用については、税抜き価格を記載のこと。

参考様式第1号（第7条関係）

事業計画書

事業名称	こども向けバス乗車証明書配布による利用機会の創出
目的	小学生以下のお子様を対象に、バスのイラストを募集しバス車内に掲示。掲示期間中をこどもバス WEEK（仮称）に設定し、路線ごとに乗車証明書を配布することにより、普段バスに乗らないファミリー層のバス利用機会の創出を図るもの。
日時	2026年9月19日（土）～23日（水祝）の5日間
場所	路線バス車内（4～5路線）
事業内容	小学生以下のお子様に、バス乗車証明書を配布
総事業費	104,935円
補助申請額	100,000円
対象者及び予定人数	子ども500人+そのご家族
期待される効果	こども50円バスのPR及び新たなバスユーザーの獲得
その他	

参考様式第2号（第7条関係）

収 支 予 算 書

1. 収入の部

区分	予算額	摘要
地域公共交通利用促進 事業補助金	100,000 円	
自社負担金	4,935 円	
	円	
合計	104,935 円	

2. 支出の部

区分	予算額	摘要
デザイン費・印刷費	74,935 円	乗車証明書（カード）
広告費	30,000 円	SNS・チラシ等
	円	
	円	
	円	
合計	104,935 円	

※費用については、税抜き価格を記載のこと。

参考様式第1号（第7条関係）

事業計画書

事業名称	西鉄電車に乗ってお得に巡ろう！ラーメン vs うどんデジタルスタンプラリー
目的	西鉄沿線に数多く存在するラーメン・うどんの名店をお得に巡っていただき、まちのにぎわい創出および沿線の魅力発信を行うもの。なお、大牟田駅を最寄りとする2店舗も本企画の対象店舗となっており、大牟田の魅力を改めてPRするもの。
日時	2026年6月1日～7月31日
場所	西鉄天神大牟田線および西鉄貝塚線
事業内容	福岡を代表する麺文化のラーメンとうどんのどちらが支持されているかを定める参加無料のデジタルスタンプラリー。 ※開催期間中に参加者が獲得した協賛店のスタンプ総数をラーメン店・うどん店ごとに集計し、より多くの支持を集めた麺を「福岡の麺」として決定。 大牟田駅最寄りの2店舗を含む、西鉄電車沿線の名店&新進気鋭の20店舗が対象。当スタンプラリーは、参加店の最寄り駅または参加店でスタンプを獲得することで、全店で使えるお得な「共通クーポン」を獲得。 さらに、ラーメン店・うどん店（各店舗の最寄り駅含む）のどちらかのデジタルスタンプをコンプリートすると「西鉄電車 オリジナル箸」をプレゼント。
総事業費	3,464,000円
補助申請額	100,000円
対象者及び予定人数	対象者：制限なし（参加者はアプリ「LINE」必須） 予定人数：900人前後
期待される効果	まちのにぎわい創出および沿線の魅力発信。 参加無料でお得にサービスを楽しむため、沿線回遊を促し、地域公共交通利用促進に繋がる。
その他	「共通クーポン」は、各店舗によってサービス内容は様々。 （例：大牟田駅のねごろ屋の特典は「ごぼう天サービス」） また、ラーメン店・うどん店（各店舗の最寄り駅含む）のどちらかのデジタルスタンプをコンプリートすると「西鉄電車 オリジナル箸」をプレゼント。

参考様式第2号（第7条関係）

収 支 予 算 書

1. 収入の部

区分	予算額	摘要
運賃収入	3,328,000 円	①一人あたり平均往復運賃× ②イベント参加人数× ③一人あたり平均乗車回数 1,040 円×800 人×4 回 =3,328,000 円
地域公共交通利用促進 事業補助金	100,000 円	
自社負担金	36,000 円	
合計	3,464,000 円	

2. 支出の部

区分	予算額	摘要
PR 費用(ポスター・HP 等)	2,270,000 円	
システム費用	650,000 円	
店舗協賛費用	500,000 円	
コンプリート特典製作費	44,000 円	
	円	
	円	
合計	3,464,000 円	

※費用については、税抜き価格を記載のこと。